



文字と式 1・文字を使った式

2 文字を使った式の表し方(その3)

【No.20の後で学習 ♣ 補充問題】 (0/5)

乗除混合計算

◀ ● ■ 指導ノート ■ ● ▶

(1) 指導目標

どの生徒も、乗除混合計算を速く、正確に計算できるようにします。

(2) 指導の流れ

No.20で分数や多項式なども含む乗除混合計算の指導をしました。

ここでの生徒の困難さは、次の点です。

- ・ () の処理
 () をどのようなときに書いて、どのようなときに書かないのか。
 はっきりと分かって使っている生徒はそれほどいません。
- ・ 1 の処理
 まだ、”安心して”積や商に1を書く生徒がけっこういます。

ここでは、とりわけ、まだまちがいの多い () の処理を重点的にもう一度丁寧に指導します。

(3) 指導上の留意点

分数を含む式の計算はすべて分数に直して計算します。

整数の計算もすべて分数に直して計算するのが原則です。

だから、計算まちがいをする生徒には、徹底的にこの原則を守らせます。

しかし、ある程度、計算力がついてくると…

この計算法は”うっとうしく”おもえてきます。

そこで”簡便算”を指導します。

No.20でも、少し練習しましたが、ここではたっぷりドリルします。

ただ、これは、すべてが整数の式でのみ使えることを強調しておく必要があります。これをほっておくと…

分数を含む計算でこれを使い出し、平気でわられる数の整数をわる数の分母にかける生徒がでます。

$$a \div \frac{b}{2} \times c \div d = \frac{b c}{2 a d} \quad (*_*) \setminus$$

教師たるもの…

生徒のまちがいは、指導方法の”関数”であることを心しておきましょう。